



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年10月2日

上場会社名 株式会社 あみやき亭

上場取引所 東名

コード番号 2753 URL <http://www.amiyakitei.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 佐藤 啓介

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 千々和 康

TEL 0568-32-8800

四半期報告書提出予定日 2019年11月14日

配当支払開始予定日

2019年12月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	16,124	1.2	1,207	20.7	1,236	20.8	775	23.3
2019年3月期第2四半期	15,938	1.6	1,521	2.2	1,561	2.7	1,011	4.0

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 775百万円 (23.3%) 2019年3月期第2四半期 1,011百万円 (4.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	113.28	
2019年3月期第2四半期	147.69	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	25,938	21,688	83.6
2019年3月期	25,969	21,257	81.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 21,688百万円 2019年3月期 21,257百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		50.00		50.00	100.00
2020年3月期		50.00			
2020年3月期(予想)				50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,260	3.5	2,420	12.5	2,530	11.7	1,540	5.9	224.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	6,848,800 株	2019年3月期	6,848,800 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	324 株	2019年3月期	324 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	6,848,476 株	2019年3月期2Q	6,848,576 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善などが続いているものの、米中貿易摩擦の激化等による世界経済の減速懸念など依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の下、当社グループといたしましては、「お客様に喜んでいただき、選んでいただく店舗作り」を目指し、「食肉の専門集団」の強みであるカット技術を活かして季節メニューの開発をするなど、お客様にとって価値感・満足感のある商品を提供し、他社との差別化を図りました。

また、クリンネス、キッチン・ホールのオペレーション等基本の徹底を図り、接客・サービス力向上を図るなどの既存店強化に努めてまいりました。

店舗数につきましては、株式会社杉江商事の新規連結による7店舗に新規出店3店舗（焼肉事業2店舗、その他事業1店舗）しましたが、2店舗退店（その他事業2店舗）したため、当第2四半期連結会計期間末の店舗数は266店舗となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は、16,124百万円（前年同期比1.2%増）、損益面につきましては、国産牛肉相場が上昇したことに加え、人件費関連コスト等販売費及び一般管理費の増加により営業利益1,207百万円（前年同期比20.7%減）、経常利益1,236百万円（前年同期比20.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益775百万円（前年同期比23.3%減）となりました。

<焼肉事業>

焼肉事業の当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、株式会社杉江商事の新規連結による7店舗に他に新規出店2店舗出店した結果181店舗であります。内訳は、あみやき亭110店舗、どんどん22店舗、かるび家3店舗、スエヒロ館21店舗、ほるとん屋12店舗、ブラックホール5店舗、島津1店舗、ホルモン青木他7店舗であります。

当社が経営する「あみやき亭」では、品質の向上に徹底的にこだわり「お客様にとって価値感・満足感のある商品」を提供するとともに、接客・サービス力向上に向けたクリンネス、キッチン・ホールのオペレーション等基本の徹底を図るなどの既存店強化に努めてまいりました。

株式会社スエヒロレストランシステムが経営する焼肉「スエヒロ館」につきましては、「スエヒロ」ブランドの知名度と「食肉の専門集団」である強みを活かした和牛商品を「チェーン店価格」で提供するなどグループシナジーを発揮した展開をしております。

また、株式会社アクトグループが経営する焼肉業態へ当社より焼肉食材を供給し、一層の品質向上に努めてまいりました。

株式会社杉江商事が運営する「ホルモン青木」をはじめとしたホルモン焼店につきましては、第1ステージとして社内整備と当社の「食肉の専門集団」の強みを活かしたコスト見直しを実施するとともにブランドの知名度を活かした展開を行っております。

以上の結果、焼肉事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、12,171百万円（前年同期比1.3%増）となりました。

<焼鳥事業>

焼鳥事業の当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、55店舗であります。

焼鳥事業は、当社が経営する「元祖やきとり家美濃路」であります。

焼鳥事業におきまして、焼きの技術向上に努め、「美味しくて、安い」焼鳥や釜めしの提供に努めてまいりました。

以上の結果、焼鳥事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は、1,859百万円（前年同期比0.5%増）となりました。

<その他の事業>

その他の事業の当第2四半期連結会計期間末の店舗数は、30店舗であります。

内訳は、当社が経営するレストランの「ハンバーグ&ステーキレストランあみやき亭」2店舗、株式会社スエヒロレストランシステムが経営するレストランの「スエヒロ館」15店舗、居酒屋「楽市」3店舗と株式会社アクトグループが経営する寿司業態の「すしまみれ」6店舗、ダイニング3店舗、イタリアンレストラン1店舗であります。

「ハンバーグ&ステーキレストランあみやき亭」は、美味しい国産牛のステーキ、ハンバーグをお値打ち価格にてご提供する本格的ディナーレストランとして今後、中部地区においてドミナント展開を行ってまいります。

レストランの「スエヒロ館」につきましては、スエヒロブランドを活かしつつ「食肉の専門集団」である当社グループの強みを活かした「100%国産牛ハンバーグ」「国産牛ステーキ」を提供するハンバーグ・ステーキの専門店として、引続き品質の向上に努めてまいりました。

居酒屋「楽市」につきましても、メニュー開発を行うとともに商品の品質向上やお客さまの立場に立った接客・サービスの向上に努めてまいりました。

株式会社アクトグループでは、経営する寿司業態、ダイニング業態、イタリアン業態とも快適な空間で食事を楽しんで頂くことを目指しております。また、寿司業態では各店舗で行っている鮮魚の仕入およびカットをセントラルキッチンに一部移行するなど業務の効率化並びにコストダウンを図るとともに全国各地の産地直送鮮魚をお値打ち価格で提供するなどお客様満足度の極大化に努めております。

以上の結果、その他の事業の当第2四半期連結累計期間の売上高は2,100百万円（前年同期比1.6%増）となりました。

なお、各事業の売上高については実績ベースにおいて記載しており、連結売上高に含まれておりますポイント引当金の影響を考慮しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産額は、25,938百万円となり、前連結会計年度末と比較し、30百万円減少いたしました。主な要因は現金及び預金の減少によるものです。

負債総額は、4,250百万円となり、前連結会計年度末と比較し、462百万円減少いたしました。主な要因は未払金及び未払費用の減少によるものであります。

純資産総額は、21,688百万円となり、前連結会計年度末と比較し、431百万円増加いたしました。主な要因は利益剰余金の増加によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期通期の連結業績予想につきましては、2019年4月2日公表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,230	10,522
預け金	280	325
売掛金	4	3
商品及び製品	69	74
原材料及び貯蔵品	170	193
その他	809	883
流動資産合計	12,565	12,002
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	5,538	5,556
構築物(純額)	327	320
機械及び装置(純額)	302	329
車両運搬具(純額)	14	11
工具、器具及び備品(純額)	223	189
土地	2,709	2,709
建設仮勘定	19	24
有形固定資産合計	9,134	9,142
無形固定資産		
ソフトウェア	32	29
のれん	452	915
その他	31	29
無形固定資産合計	517	974
投資その他の資産		
投資有価証券	5	5
長期貸付金	331	351
繰延税金資産	863	854
差入保証金	1,545	1,595
投資不動産	307	305
その他	699	706
投資その他の資産合計	3,752	3,818
固定資産合計	13,404	13,936
資産合計	25,969	25,938

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,165	1,036
未払金及び未払費用	1,416	1,217
未払法人税等	619	484
賞与引当金	134	142
役員賞与引当金	—	15
株主優待引当金	5	14
ポイント引当金	75	83
その他	563	524
流動負債合計	3,981	3,518
固定負債		
リース債務	284	249
資産除去債務	415	438
その他	30	44
固定負債合計	731	732
負債合計	4,712	4,250
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,473	2,473
資本剰余金	2,426	2,426
利益剰余金	16,357	16,789
自己株式	△1	△1
株主資本合計	21,257	21,688
純資産合計	21,257	21,688
負債純資産合計	25,969	25,938

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	15,938	16,124
売上原価	5,761	5,990
売上総利益	10,176	10,134
販売費及び一般管理費	8,655	8,926
営業利益	1,521	1,207
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	0	1
受取賃貸料	17	18
協賛金収入	14	4
その他	6	4
営業外収益合計	41	31
営業外費用		
不動産賃貸費用	1	1
支払利息	0	0
その他	—	0
営業外費用合計	1	1
経常利益	1,561	1,236
特別利益		
受取保険金	0	3
受取補償金	—	3
特別利益合計	0	6
特別損失		
固定資産除却損	17	23
その他	0	—
特別損失合計	18	23
税金等調整前四半期純利益	1,544	1,219
法人税、住民税及び事業税	532	414
法人税等調整額	0	28
法人税等合計	533	443
四半期純利益	1,011	775
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,011	775

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	1,011	775
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	—
その他の包括利益合計	0	—
四半期包括利益	1,011	775
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,011	775

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。